

刊夕 日七月八

常警 毎日新聞

定価 一月五拾五圓 三月一拾五圓 半年二拾五圓 一年四拾五圓
廣告料 五圓以上 一割 五圓以上 一割 五圓以上 一割
日曜 祭日の翌日 休刊
発行所 常警毎日新聞社
社址 東京都千代田区千代田一丁目一〇番地
電話 常 六三〇〇 夜 六三〇〇
印刷所 常警毎日印刷株式会社
印刷 常 六三〇〇 夜 六三〇〇



山 峽 (二)

生方たつる

新築みちでも言ふのですか、じくじくと水の浸みる昔が古びたまま残つてゐるかと思ふと、すぐ傍に軽石を砕いたやうな地層が切り拓かれて、鬱蒼と繁つてゐるとばかり思つてきた山道は五月の陽にそうそうと照り明つてゐました。原の平は一面の麥畑と案畑でしかなかつたのでしたが、見下す溪間は今を芽吹きとやら烟つて、その間からは、冬から持越しの赫らんだ山肌がほんのりと煮氣をはいてゐるやうでした。この頃しきりに開墾だと稱して採伐されてゐる種類の木でもあるのです。村の夫婦らしいのが薪に切つて積み重ねて居りました。その傍で女の方が焚火をしてゐるのは大方晝餉にするつもりであらう。

「お前がおふくろもたいてい幸福者と言ふもんだよ。下の娘も熱海なんといふ處やつといてさ。」
「わしが赤坊のころには、先祖からの物もすつかりお

父つさんに使ひ果されてさ。お母さん一人がわしを背負つて田に出たものだよ。お前を籠に入れて畔に遊ばせて置いたら田の中に落ちこんで、泣き出された時にや一緒に畔に座つて、お前を抱いたまゝ泣いたもんだと、よくさかせてくれたもんだあ」
女の方は白く呆けかゝつた楷火をかき廻し乍ら頻りに話してつゞけてゐるので、其女の母親といふのはほんとうに貧の底にあつて、よく堪へて来たと言ふことらしいのです。村の中を一日歩き廻つて、落ちてゐる屑

「もうちつとだ。一精だして片付けてしもふべい。」
男の方は立ちかけて、着てゐた法被を薪の上にぬぐと、又せつせと働かかけたのです。私も掻きあつめて敷いてゐた櫛の葉をばたばたと裾で拂つて立上ると、親しみこめて言葉をかけながらわざと舊道に添つた藪の中へ降りて行つたのでした。そこには刺もいよくらか艶だつて芽吹いてゐる接の木があり、その下草に交つて、こごめ、せんまいに似た羊歯の一種らしいのが、もう三四寸もはえてゐるのでした。

接の芽は
かんぼく 揺れる
芽を喰べに
鹿がとほつた
背のびして

かはゆい仔鹿
ぜんまいが
腹に觸るよ
なる程 考へてひねくつ
てゐるよりも、ものは氣取
らずに観ることだと、ふと
ある詩を思つたのでした。
時刻はもう、大分晝を廻つ
たらしい。高原の陽は、ず
つとも、霧りを濃く落し
てゐましたから……

和洋 家具

椅子
テーブル
その他裝飾品一般……
御用命は迅速に御努め致します
製作販賣 諸官衙 御用達
各學校

片寄製作店

平町五丁目四
片寄 小彌太
電話 四八四番

内科一般

醫學博士 難波 睦
看護婦募集
平町大町新川端
電話 五〇〇二

旅大 旅館

私は平町出生ですから特に郷里の
皆様方の爲めに御便宜を圖ります
主人 比佐棟雄
前野上東京東
角通横局便郵谷下
番七七六區谷下話電

御新盆提灯

●御名提灯
●特製スソ模様入レモ出来マス……
●岐阜提灯・變形提灯
……各種取揃へました……
是非御用命は！格價低廉の
スガノヤ提灯店へ
平・四 電話九五番

美味……
新鮮……
ベーカリー
東京堂のパン
是非御試食を！
平搔樋小路
電話一〇八番
弟徒入用

毎度御引立を戴いてゐる
藤寅では例年通り
冷たい美味しい飲物
アイスクリーム アツキアイス
ミルクセーキ ソーダ水
ミツ豆 クリームソーダ
其他氷水各種
相初めました。是非夏の夕の御散歩歸りに御立寄り
下さい。
平一丁目
藤寅
電話一四一番

冷害の収穫減で

小麦茶種が暴騰

農家は昨年よりもお蔭で懐具合よし

平穀物検査所で去月中に検査した本年度小麦及び茶種の受検数は小麦が四千七百四十二俵、茶種は四千三百十二俵で本年の収穫高は冷害が豫想以上に受けて居るので昨年に比し小麦は千俵茶種は五百俵減収してゐるが取引相場はいづれも暴騰して小麦は昨年より二圓八十銭高、茶種は一圓九十銭高で取引されるので収穫減でありながら懐具合は昨年以上に暖くなつてゐる

工費四萬圓で

講堂校舍新築

勿來町二ヶ年繼續續事業として工費四萬一千圓を投じて同町小學校講堂並に校舎八教室の新築増築をなすことになり縣營繕課へ設計を依頼した、尙講堂は間口奥行二十間百八十坪の廣大なるもので二千五百名を收容する公會堂を兼ねたものであると

魚市場敷地埋立

愈岸壁工事着手

小名濱漁市場今後を期待

小名濱海岸六千五百坪の町管理立工事は既に六分通り進行いよ、岸壁工事に着手するので内務省築港事務所浚渫船坂東丸を借受け岸壁附近の浚渫ならびにコンクリート擁壁の築造を五日から開始した

なほ同埋立地に建設する町營魚市場は奥行十間、間口六十間の堂々たる鐵骨コンクリート建設で完成後は三百噸級十數隻を一時に岸壁に横付け直ちた水揚げすることが出来るので取引額も現在百

八十萬圓臺より一躍三百萬圓臺に飛躍することは確實で三崎、石ノ港間唯一の理想的漁港として今後の發展を期待されてゐる

一方小名濱商埠頭は現在までに七個のケーソン(函塊)を沈下したが年内までには豫定通り十一個のケーソン(一個の重量九百五十噸)沈下を完了して、いよ本格的築堤に着手する方針でこれも完成後は三千噸級二隻、五千噸級一隻の商船が架々横付けされるわけ

である

秋播蔬菜 神谷農

栽培講演 試分場の矢ヶ崎技手は来る十二日午後一時から同町小學校で秋播蔬菜の栽培に付いて講演を行ふ

決勝戦で

惜敗す

磐女庭球部 宮城で力闘

既報昨日仙臺市に開催された宮城縣庭球協會主催の東北一般女子選手権大會に出場した磐女庭球部熊トリ子鶴山廣子組は第二回戦相馬高女に四對三で敗れ熊安子渡邊コト組は連戦連勝勝破竹の勢で第一回戦仙臺如來を四對一、第二回福女師を四對〇、第三回戦仙臺三保クラブを四對〇、準決勝福女師〇Bを四對〇で破り決勝に臨み福女師〇B軍羽染一熊谷組と對戦善戦したが球運に恵れず遂に四對三で惜敗したスコアは左の如し

| | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|---|---|---|
| 熊 | 3 | 8 | 2 | 4 | 2 | 4 | 2 |
| 渡邊 | 5 | 6 | 4 | 0 | 4 | 0 | 4 |
| 熊谷 | | | | | | | |
| 羽染 | | | | | | | |

水泳優勝

磐中軍飛躍

既報五、六日の二日間二高プーで開催された二高尙志

市外通話料額で

毎月一、二位を争ふ

平局市外通話課ドル箱調

平郵便局は今七日七月分市外通話料使用者六百五十七人、金額二千九百四圓四十八錢の切符を發行、来る廿日迄に納入せしめる筈であるが使用料金のナンパー一は市内本町通り某商店の百八十二圓二十錢第二位は黒ダイヤ景氣に躍る某炭礦の百五十六圓五十一錢でこの兩者は毎月殆んど一二位を争つて平局市外課のドル箱となつてゐる

事務指導講師 各町

村の豫算編成其他一般事務の指導講習會は既報の如く来る十日植田町十一日平町二ヶ所で開催されるが講師は本縣東郷地方課長及び富澤事務官に決定

平町人事

出生

△仲間町六九鈴木菊松氏三女久子さん
△道匠小路二三坪山末吉氏二女範子さん

結婚

△相馬郡右神村長野宇木工正内四七渡邊清治氏(三三)古鍛冶町二平澤モト子さん(二九)

回死

夏の御飲み物

アイスクリーム アツキアイス
ミルクゼーキ 別味 みつ豆
ソーダ水 色々 特製 氷あづき

例年通り始めました
ほどよく香のよい宇治名産氷挽茶、御土産に好適なクリームモナカも御座います。

「氷すいか」

平二警察署裏通り 魚清食堂

電話六三三

鈴木醫院

耳鼻咽喉科専門
醫學士 鈴木 正男
平町田町 (電話五八番)
藤田女學校前
自炊のお需めに應ず
入院の便あり

暑中御伺

時節柄宣傳には...
是非! チンドンヤを
御利用下さい

丸屋春日亭米之へ
委細は平町仲間町六九

吉田眼科醫院

平町紺屋町

ホロ酔で徘徊する 舉動不審の少年賊

窃盗行脚がばれて

不敵兩刑事と格闘

七日午後五時頃平町新川端をピル箱を夫々一個宛肩にした舉動不審の少年二名がビールを喇叭飲しながら徘徊するを折柄密行中の平署草野、布施兩刑事が引致せんとするや矢庭にビール瓶を揮つて抵抗、格闘の末逮捕して本署に連行、取調べた處右は豊間村大字豊間箱崎幸太郎(一)同村志賀清(二)れも假名で六日夜、平町大町古物商垂井芳藏方から前記ビール一打入の箱を二箱窃取した外豊間村内の漁船からビール機械等十餘

貫を窃取したこと自白、他にも兩名共謀で窃盗行脚を續けてゐた事實あるため追求中

平町に落雷 六日午

後五時頃平町新川町諸橋吳服店前電柱に折柄の雷雨中落雷人畜には死傷をなかつた

平聯合防護團 第一回協議會

防護團結團式後第一回の協議會は本七日午後七時から同町會議室で開く

不參者三名告發

陸軍召集違反として

平町寄留者八十名、神谷村六十四名、平窪村六十四名計二百八名の簡閱點呼は昨日通り今七日午前八時から平第一校庭で新庄輔兵中佐に依り執行不參者一名もなく頗る好成绩であつたが昨日の平町不參者左記三名は陸軍召集違反にて告發される

鎌田町二五入江操 材木町二新妻信雄 北目十三 最上主税

一月後に 死体漂着

去る七月九日石城郡錦村金藏さん次男鈴木岩雄さん(六)はサメカハで遊泳中行方不明となつたが五日小名濱沖合五連の所で出漁中の漁夫がその死體を發見した

若妻家出疾走

町宇室海小林辰大内縁の妻相馬郡中村町生小松ハツ

頻々として行れる 無許可山林火入

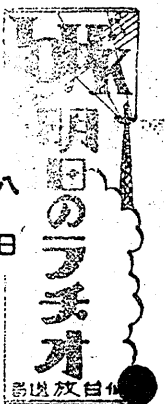
平署弊風一掃に乘出す

箕輪村大字高野字白石四五高萩吉次(五)同村渡戸植村委員高萩喜一(五)の兩名は去る十一日午前十時から一時半頃迄の間に同村笠巻地内公有林(荻野倉大管理)を同村青年八名を便役し萱の生育を計るため火入をなしたと發覺、本七日森林法違反として平署に檢舉され取調中

尚同村では從來嘗等の生育を計るため所轄警察署の許可なくして屢々火入を行つて來た形跡あるため平署では徹底的に追求弊風を一掃することになつた

若い坑夫窃盜

町入山炭礦坑夫合宿所方同炭礦坑夫山形縣西置賜生山



天 今晩も明日も南
西の風晴夕立模
報 豫 様

今晩の部

後六、〇〇 幼児への昔噺
浦島太郎「オハナシクラ
後六、二五 趣味講座 史
蹟 古代文化の流れ
と「三の史蹟」中曾根都
太郎
後七、三〇 講演「英國を
日本署へ捜査方辰太から願
ひ出た

明日の部

中心とした最近の歐洲外
交「神川彦松
後八、〇〇 歌曲「新さら
し」今井慶松、中能島欣一
後八、二五 歌謡曲 勝太
郎 東海林太郎
後八、五五 常磐津「新山
姥」松屋太夫他
後九、三〇 時報 ニュー
ス 明日の話題 氣象通

報 番組豫告

前六、三〇 速成獨語講座
登張信一郎
前七、〇一 朝の修養「無
門關講話」神保如天
前七、四一 中等學校復習
の時間「植物」高松正彦
前八、一〇 小學生おさ
ひの時間「算術」矢鋪大治
郎
前八、四〇 趣味講座「夏
の髪の手入れ」菅原たつ
前九、〇〇 母の時間
「土に親しむ生活」秋庭俊
彦
後九、〇〇 五國民歌謡「朝」
他 青山薫二葉あき子
後九、五〇 都市對抗野球
大會「神宮球場中繼」
後六、〇〇 夏休み玉手箱
後六、二五 趣味講座「史
蹟巡り金波煙雨の寺泊」
齋藤秀平
後七、三〇 浪花節「黒髮
磧」木村友衛
後八、一〇 舞臺劇「夜討
會我狩場」市村羽左衛
門他
後九、〇〇 時事解説「列
強國防費の狀勢」牧野輝
智

裁判 一 束

△今七日開廷する筈であつた平町研町白萩酒店雇人耶麻郡喜多方町天満前生れ佐藤三郎(三)が賣上金其他三千餘圓を横領費消した事件の判決言渡し公判は都合に依り來る十日に延期された

井坂醫院

平町 田町
電話五五九番

高卒 △藥品職工 二十一才 中
卒 △西洋洗濯 三十一才 尋
△コック職工 二十六才 同
△コック 二十四才 同
△サイドカー運轉手 三十
才 同
△十子守 二才 尋卒

平第一日歸り

臨海學校通信 (三)
舟につて濱へ行くと、は

続る死解の謎

(脚上談上) 悟道軒圓玉(作) 尾至陽(書)



一九一 踏込んだ官軍
土井伊織は別荘の潜り門より中へ飛び込んだ、この時むかうから来た官軍の兵士は駆けよつて龜洞の光りをあびせた、するとこの門から出たは六十余りになる爺ぢ、

爺「何んだらう大層明るいがお、官軍様か、これは御苦勞様でございます」

とかういつた

兵「これ、貴様は何んだ」

爺「わしはこゝの下男がす」

兵「たゞ今この門よりをどり込んだ者があるであらう、イヤ忍び込んだものがあるはずだ」

爺「これを聞いてうしろを振り向きキヨロ〜見まはして」

爺「そんなものは見當らねえが」

兵「イヤ確に入つたに相違ない、吾々は見届たぞ」

爺「さうか、お前さんがたが見たといふ上はこゝへ入つたものがあるに相違ねえ、一体何んでそんな事をいはずしやる」

兵「われ〜は官軍だ、今日上野の戦ひにて現場を逃げ居つた落人を捜索するた

めにこの邊を巡廻いたし居る、上野を落ちた者は朝敵である、さすればそれを取らねば三輪の屯所に引き立て殿將に處す」

爺「あゝさうでございますか、それではこゝのうちに調べなせえ、イヤ鳥渡待つてくだせえ、主人に一應こ

るめえ朝敵とはちがうだねして見れば如何に町人の住居ならばと踏込んでたづねるは無法なことだの、まア待たつせえ、主人に話しますから」

とビタリ潜門を閉めてあたりを見まはすと庭の入口の小柴垣に身をひそめてゐるは輕装した一人の武士爺「お前さんは上野から落ちて来たものか」

伊「官軍は何うした」

爺「今踏み込んでしらべるといはつしやる、見付ければ殺されるのでこゝに入つてゐなせえ」

と手を取つてこの家の床下に押入れ、こうしておいて



の事を話さぬうちにこの門のうちに入れることは出来ねえだ」

兵「駄目、吾々は官軍だぞそれが朝敵を捕へるのだ、さすれば當家の主人のゆゑしをうけるには及ばぬぞ」

爺「それは亂暴だ、官軍様ならば禮儀を重んぜねばな

奥に來て主人に告げた、提灯をとぼして出て来たはこゝの主人、しづかに潜門を開き

主「これは御苦勞様でございます、今下男から聞きまして私が私の構へ内に上野の落人が逃げ込んだとのことどうぞお調べ下さいま

し」

兵「貴様は當家の主人か」

主「左様にございます、高木伊兵衛と申します商人でございますがこゝは私の非常立退き場でございます、近來娘が病氣につきましてこの別荘で療養中でございます、と今日上野で戦がはじまりましたについて娘の身を氣づかひ室町の店から出て参りました」

兵「さうか、しからは一應しらべろぞ」

どか〜と中へ入つた十四五人手分けをして庭をしらべたが茶庭でいたつて風雅に出來てゐる、しかし田舎者の多い官軍とて、庭の趣味などは判らない、石燈籠を打たふし芝草をふみにちり立木のうしろに潜伏してゐるかと思はれ、

と銃剣にてさす、これから茶座敷へ來て調べ果ては床下に彈丸を射ち込むのを見て下男はこれは一大事、あの彰義隊打ち殺されたかと心配してゐる

官軍は散々あらしまはつた末に

兵「これは不思議だのたしかにこの構内に逃げ込んだと見たが、それは間違ひであつたがイヤ主人、上野の落人が参つたらば止めおいて三輪の屯所まで訴へて出ろ、かくしおくと重い刑に處せられるぞ」

といひおいて再び銃を肩にして出て行つた。

廣 告

三井タクシク

番五八六電・二平

計時

高橋時計店

平町二丁目

・小役員募集委細面談・

鐵道省指定記念

小名濱……湯本間乗合自動車

無料乗車券サービス

呼吸患救濟の王

陸海軍御用

帝國大學醫學部御用

官公立醫學專門學校御用

吸入用酸素

體溫計(メートル)

御用命次第迅速に御届け致します

平町古銀治町一〇縣社ノ下

處方箋調劑所 阿康藥局

電話 四四四番

振替口座東京三〇〇番

平町田町通電話六五五番

玉屋洋品店

小瀧へ!!

| | | | |
|-------|------|------|------|
| 宿泊料 | 1.50 | 2.00 | 2.50 |
| 日歸浴席料 | .20 | | |
| 自炊料 | .50 | .80 | |
| 料理一定食 | .80 | 1.00 | 1.50 |

(その他一品料理洋食)

◆湯 幼 神經痛、リウマチ、胃痛、腹痛、病、逆上、中風、肥胖病、痔疾、婦人病、(内務省東京衛生試験所檢定済)

◆諸 備 撞球臺、高級ラヂオ、大廣間、讀書室、近代式浴場、洗面所、水、洗式便所、小動物園、タクシー、魚子、様運動器具

◆名 物 川魚料理(うなぎ、鯉)蜂蜜羊かん

●女中數名入用●

常磐線湯本驛 小瀧鑛泉

御旅館 瀧の湯

御自炊

電話 (小名濱) 103番